

おひさまだより

令和3年9月1日発行



横手市婦気大堤字谷地添7-1 (伊藤小児科・内科医院敷地内)

TEL 0182-23-6477 (予約・キャンセル・お問合せ専用)

ホームページ <http://www.ohisama-itocl.net/>

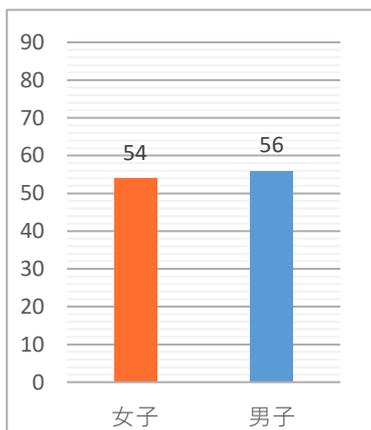


朝夕の涼しさに少しずつ秋の気配を感じるようになりましたが、日中はまだまだ蒸し暑い日が続いていますね。気温差で体調を崩しやすくなる時期ですので、生活リズムを整え、しっかりと休息をとりながら、体調管理に努めていきたいですね。おひさまでも夏の疲れや体調に配慮し、ゆっくりと過ごせるよう心掛けていきたいと思います。

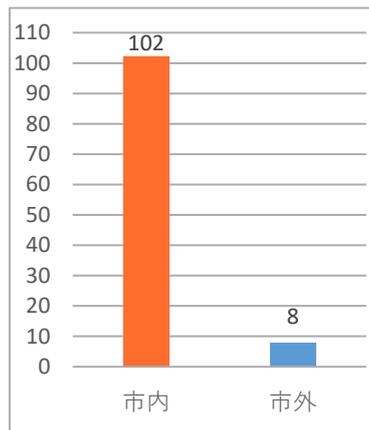
先月の病児保育園おひさまのご利用状況は以下の通りです。伊藤小児科・内科医院の感染症状況もあわせてお知らせいたしますので、どうぞご参考にしてください。

病児保育園おひさま 利用者状況 8月分

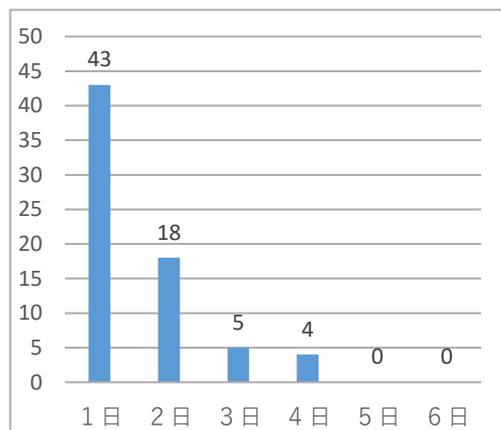
〈性別〉



〈住まい〉



〈連続利用日数〉



〈疾患名〉

	0歳児	1歳児	2歳児	年少	年中	年長	小学生	合計
風邪	29	17	21	6	2	5	1	81
RSウイルス	7	4	8	4	2			25
便アデノウイルス	1							1
突発性発疹疑い	3							3
咽頭結膜熱	1							1
中耳炎	2							2
溶連菌感染症		1						1
合計	43	22	29	10	4	5	1	114



※ 併発している疾患もすべて含む。

伊藤小児科・内科医院 感染症情報 8月分

	第一週	第二週	第三週	第四週	第五週	合計
インフルエンザA	0	0	0	0	0	0
インフルエンザB	0	0	0	0	0	0
RSウイルス	32	26	14	4	5	81
咽頭結膜熱	0	1	0	0	1	2
溶連菌感染症	2	0	2	8	8	20
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0
便アデノウイルス	1	0	0	0	0	1
ノロウイルス	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0
ヒトメタニューモウイルス	0	0	0	0	0	0
合計	35	27	16	12	14	104



9月は細菌による感染性胃腸炎に注意

感染性胃腸炎とは、細菌やウイルスなどの原因によって腹痛や下痢を引き起こす病気です。細菌ではサルモネラ、カンピロバクター、ブドウ球菌、腸管出血大腸菌（O-157など）があります。細菌による感染性胃腸炎は梅雨や夏場に多いイメージがありますが、最も多く発生するのは9月から10月です。涼しくなって食品の保管方法に関する注意が緩んでしまうことが原因の一つとしてあげられます。重篤な症状を引き起こすことがあるのは腸管出血大腸菌です。

主な症状として、水様下痢、激しい腹痛、血便を伴う下痢などがあります。下痢や嘔吐を繰り返すと脱水症状も引き起こしやすいので十分に注意しましょう。

<感染性胃腸炎予防のための4つのポイント>

- 1.手洗い・うがいをこまめにする
- 2.食品は十分に加熱する
- 3.調理器具を清潔に保つ
- 4.汚物は衛生的に処理する



子どもたちをコロナから守りましょう

横手市内のRSウイルス感染はようやくピークを越えましたが、高熱を伴う夏風邪や溶連菌感染症が流行しています。発熱のあるお子さんは早めに受診してください。

世界的にコロナのデルタ株が急速に拡大しています。デルタ株は感染力が非常に強く、子どもにも感染しやすく学校や保育園などの流行も見受けられます。

12歳未満の子どもはコロナのワクチン接種ができないため、周囲の大人が感染に注意し、子どもをコロナから守らなくてはなりません。ワクチン接種後の感染も報告されています。ワクチン接種に安心せず、しばらく横手市内からなるべく出ないようにし、飲食時の会話も控え感染防止に努めましょう。